

◆日本共産党創立104周年。歴史の岐路に希望の明日を切り開きます。

休日当番病院・医院

10月25日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター
旭 町 32-0099
- ◆外科 アーク整形外科クリニック
ときわ町 68-6111
- ◆歯科 松沢歯科クリニック
三光町 82-8205

●診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。変更への対応ができませんので、ご利用の際は電話でお確かめ下さい。

法律相談

親身相談で定評



10月26日(月)

橋本 祐樹 弁護士

(定員になり次第締め切ります)

日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党 民主 苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

〒053-0855 苦小牧市見山町2丁目2-6 電話 56-5002 Fax 56-5086

日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp/>

苦小牧地区委員会のホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
メールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

過去の議論生かされぬ受益者負担適正化

総務委員会質疑

小野寺議員 手数料・利用料見直しに反対



20年前の値上げの際には、「市民に負担をお願いするのであれば、内部努力も必要」との考えから、職員数と給与の削減をセットで実施した経緯があります。今回の見直しに対する内部努力について財政担当者は、「今回の提案の目的は財源確保ではないため、給与削減などは検討していない」と説明。あくまでも受益者負担の適正化が目的であることを強調しました。

い」と追及しました。財政部長は、「今の指摘を踏まえて検討したい」と答弁しました。見直しは、12月議会で決する方針です。小野寺委員は、「今日の委員会の議論の後は、12月の定例会でしか議論できず、時間が少なすぎる」と強調し、見直し時期の延期を求めましたが、あくまでも12月議会に条例提案、4月実施というスケジュールを変える考えがないことを示しました。

わずかな月での結論は乱暴すぎる



営努力では改善できない。税で支えるべきなのか、利用者からの料金で賄うのかのかが問われており、心苦しいが受益者負担の適正化は必要」と、これまでの説明を繰り返しました。

小野寺委員は、今月の決算委員会の議論にも触れ、「介護や国保などの社会保障費が大きな市民負担になっている。加えて物価高で市民が苦しんでいる時に、使用料の値上げなどはすべきではない」と強く追及しました。

使用料・手数料の見直し案については、6回の住民説明会を開き、パブリックコメントや市民アンケートを実施し、意見のとりまとめを行って、12月議会に条例提案するとしています。

日本共産党の小野寺幸恵議員は、「物価高騰で市民生活が大変な今、なぜ値上げなのか」と指摘し、これ以上市民の負担を増やすことに反対しました。市は「受益者負担の適正化」を繰り返す答弁に終始しました。

受益者負担を確保するとし、原則10%の増加率にする、と説明しました。

来20年振りで、見直し理由について、市は行政サービスに係る経費や消費税率改定などの社会情勢を反映し、適正な受益者負担を確保するとし、

手数料の見直し(案)が示されました。45施設の使用料と323項目の手数料です。今回の料金改定は2006年以

臨時の総務委員会が10月6日、開催され、冒頭、担当職員は「使用料・手数料の見直しの考え方に変更はない」と説明しました。小野寺委員は「9月の総務委員会、スポーツ施設やコミセンの事例をあげ、一律に値上げすべきではないと指摘した際、検討すると言ったではないか。なぜ変更がないのか、説明してほしい」と強く抗議。市は、「経費の価格が上がっており、経

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

小野寺委員は、「11月上旬まで市民の意見を聞くことになっていないが、聞いた意見を踏まえ、考え方を変更したり、料金を見直したりする時間が取れるとは思えない」と指摘。市は、「時間はないが、いただ意見踏まえて検討したい」と答弁しました。12月議会の議案説明会は11月25日であり、パブコメ終了から18日間しかありません。小野寺委員は、「このスケジュールでは、意見を集約するだけで精一杯で、検討などできるわけがない。案と言っているが、案のりき」としか思えない」と批判しました。

いわさきちひろ
大判カレンダー2027
1650円 (税込)
好評発売中!
取扱: わかくさ書店
電話 56-5002

日米訓練容認撤回 軍事で港利用するな

憲法守るつゝ宣伝 国会正門前19日行動に呼応



コールしました。

日本共産党の原啓司苦小牧市議は、「日本はアメリカと一体となつて戦争する準備を着々と進めています。今日から日米共同統合演習(キーン・ソード)が全国で実施され、特定利用港湾に指定された苦小牧港も輸送訓練で軍事利用されます。二度と戦争の道を歩まない、軍備を持たないと憲法で誓ったはずです。抗議し、今こそ憲法を生かすべきだと声をあげましょう」と呼びかけました。

誰もが安心できる年金に 年金一揆で怒りの狼煙



小野寺委員長(苦小牧市議)は、「憲法を守り、平和を残し、子どもたちの未来を守るのは大人の責任です。戦後一人も戦死する人がいなかった日本。憲法9条があったからです」と強調。

「アメリカは生食用のジャガイモの輸入解禁を狙っています。北海道は自給率100%なのに、病害虫を持ちこまれ、畑が荒らされては身も蓋もありません。なんでも米国の言いなりではたまりません」と訴えました。

下校途中の小学生もシユプレヒコールに加わり、「戦争反対。子どもたちの未来に平和を残そう」と声を大きく張りあげました。

撃っています。物価上昇を上回る年金額引き上げが必要ですよ」「公的年金の積立金は、300兆円を超えており、この運用益を正しく活用すれば、積立金本体に手をつけなくても、年金引き上げは可能です」「賃金と年金が上がる国にするために、現役世代と年金生活者が力を合わせましょう」と行き交う買い物客などに訴えました。

ほんの紹介

◆日本経済再生への道 友寄英隆著(新日本出版社) 1870円(税込)

日本経済の低迷は、30年来的新自由主義路線が「合成の誤謬」のわなにはまったため。戦後日本経済の光と影に学び、「民主的な経済計画」による日本経済再建の方向を提起します。

日本経済再生への道



政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はここ

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
日曜版 990円

国会かけある記 いわぶち友です



アイヌへの差別なくし 先住権回復へ

白老町で開かれた12日の「アイヌ民族の先住権を考えるつどい」は、会場いっぱい参加者で熱気あふれるつどいになりました。

白老町で開かれた12日の「アイヌ民族の先住権を考えるつどい」は、会場いっぱい参加者で熱気あふれるつどいになりました。

つどいの前に国立アイヌ民族博物館(ウポポイ)に行きました。同化政策についての展示が追加され、心の中で「やった!」。声をあげ続けることが変化をつくっています。

特別国会ではアイヌをめぐる課題で2回、質問しました(2026年4、5月)。19年にアイヌ施策推進法が施行され5年を経て、必要があれば措置を講ずると定められています。多くの団体のみなさんから改正を求められています。

つどいでは、旧新冠御料牧場に関わる資料の国立公文書館の移管に尽力した紙智子さんへの感謝のべられました。日本共産党として取り組みを強め、政府の姿勢を変え、先住権の回復や差別をなくすために、みなさんと力を合わせます。



閉会挨拶をする岩渕議員(12日白老町)

岩渕友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員

「生食用ジャガイモの輸入解禁手続きの中止を求める要請」署名にご協力をお願いします。